

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 27 週（7 月 1 日～7 月 7 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O91 1 人、 不明 1 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
マラリア	1 人 病型 熱帯熱
レジオネラ症	3 人 病型 肺炎型 3 人
五類感染症 ウイルス性肝炎	1 人 病型 B 型
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Escherichia</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 A 群 1 人
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 無症状病原体保有者
水痘（入院例）	1 人 病型 臨床診断例
梅毒	3 人 病型 早期顕症Ⅱ期 2 人、 晩期顕症梅毒 1 人
百日咳	4 人 年齢階級 0 歳 1 人、2 歳 1 人、 3 歳 1 人、4 歳 1 人
風しん	1 人 病型 検査診断例

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症（6. 80→8. 60：図 1-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、県内 17 保健所中、15 保健所管内で前週の値を上回った。保健所別では、南部（7. 50→13. 75）保健所管内で大きく増加し、幸手（12. 64）、鴻巣（12. 00）保健所管内からの報告も多い。基幹定点における入院患者の報告は 70 人（前週 44 人）と大きく増加した。手足口病（12. 51→18. 80：図 2-1, 2）の定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加した。保健所別では、特に鴻巣（17. 17→33. 08）、熊谷（14. 86→26. 67）保健所管内で前週より大きく増加しており、春日部（27. 67）保健所管内からの報告も非常に多い。年齢階級別では、1 歳及び 2 歳からの報告が多く、全体の約 57%となっている。ヘルパンギーナ（2. 62→4. 36：図 3-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加した。保健所別では、南部（6. 80→18. 20）保健所管内で大きく増加し、川口市（10. 08）保健所管内からの報告も多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（4. 10→4. 09：図 4）の定点当たり報告数は、前週と比較し同水準であった。保健所別では、春日部（14. 83）、幸手（9. 33）、南部（9. 20）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 2 人、流行性角結膜炎 64 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 8 人、インフルエンザ（入院）3 人の報告があった。第 19 週以降、マイコプラズマ肺炎の報告が続いている。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

（URL：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第27週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1-1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

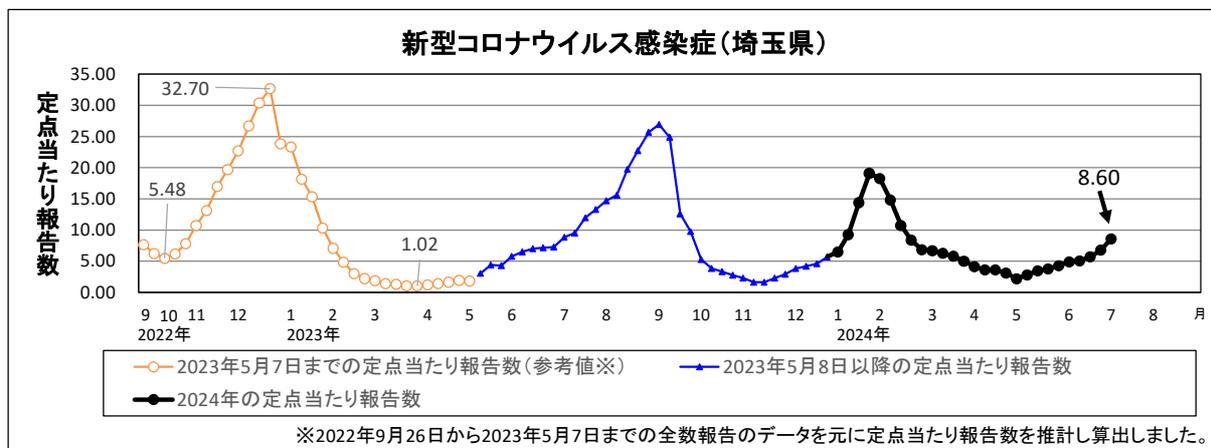
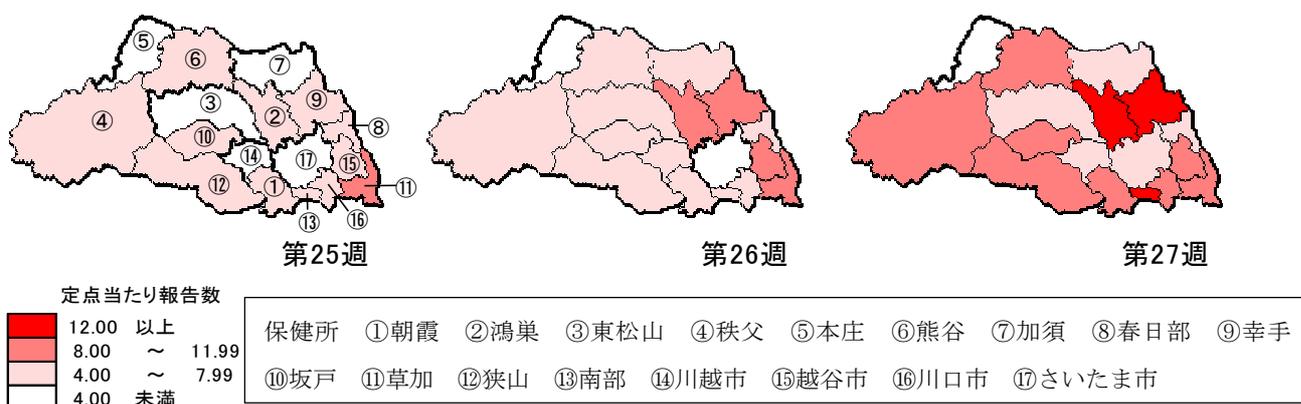


図1-2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移（2024年第25週～第27週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

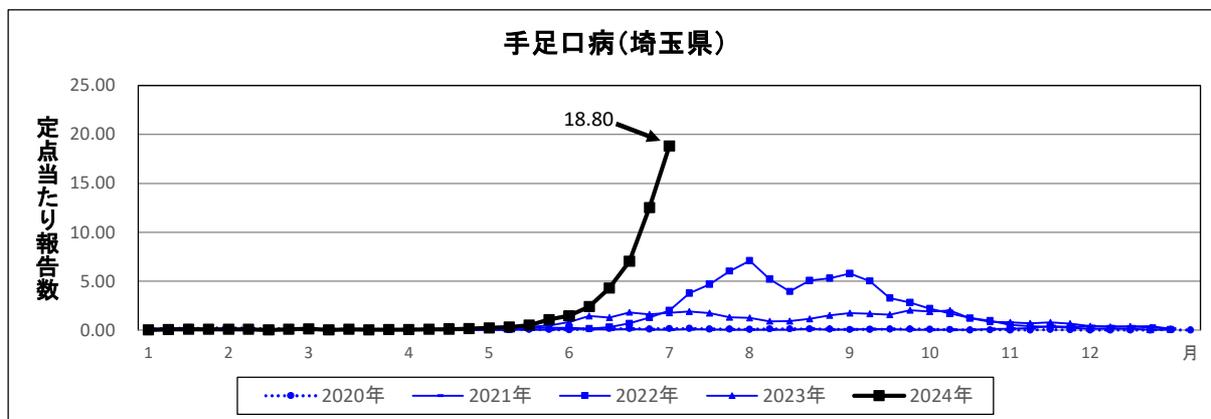


図 2-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 25 週～第 27 週)

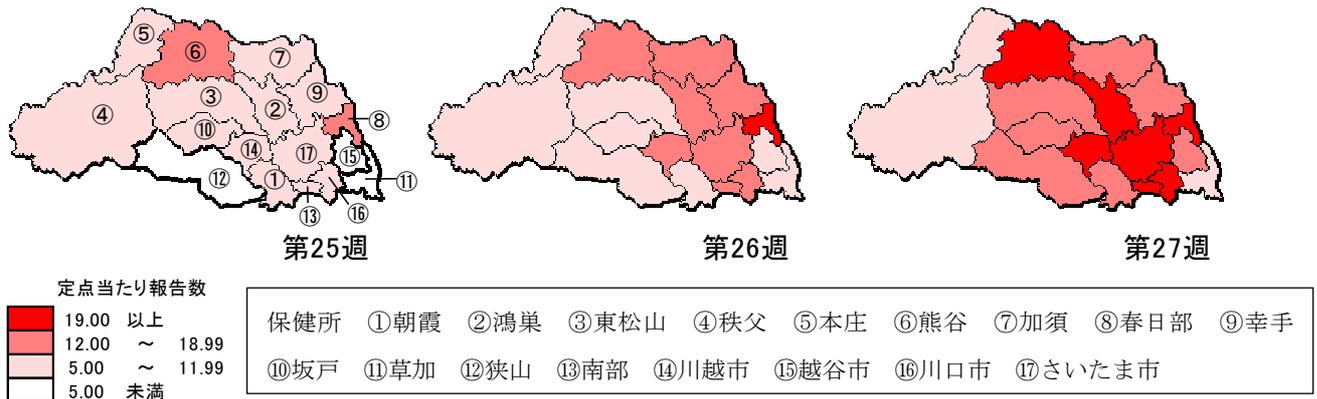


図 3-1 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

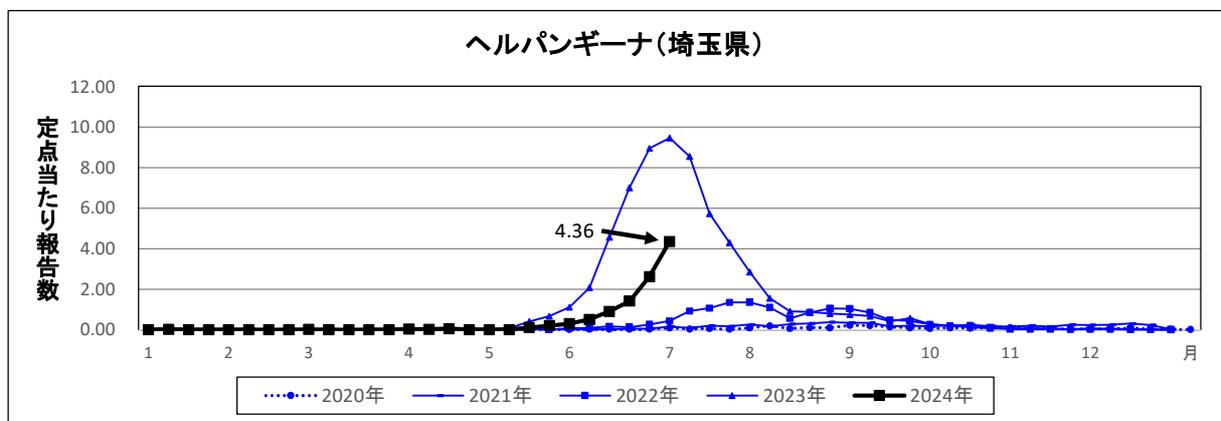


図 3-2 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移 (2024 年第 25 週～第 27 週)

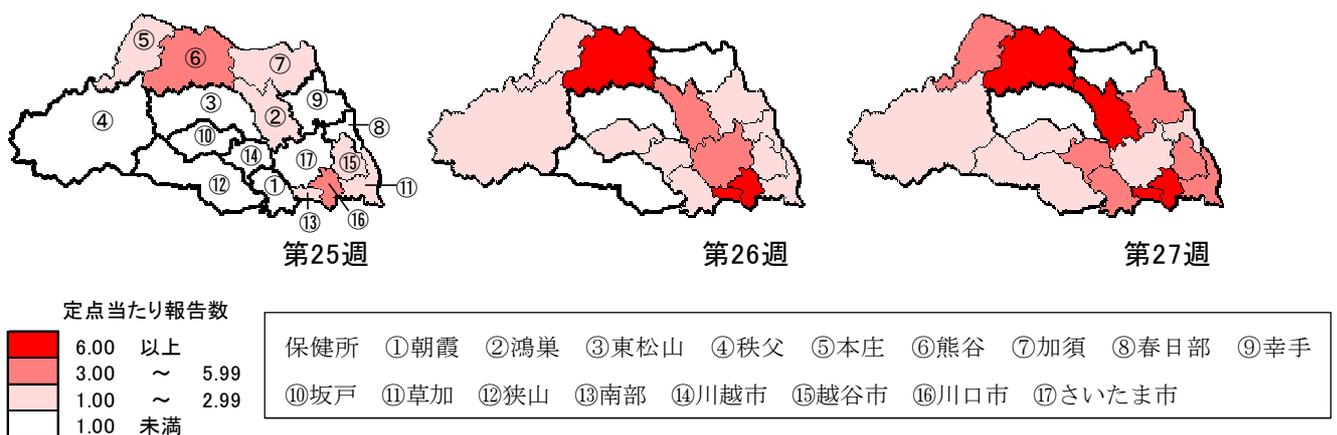
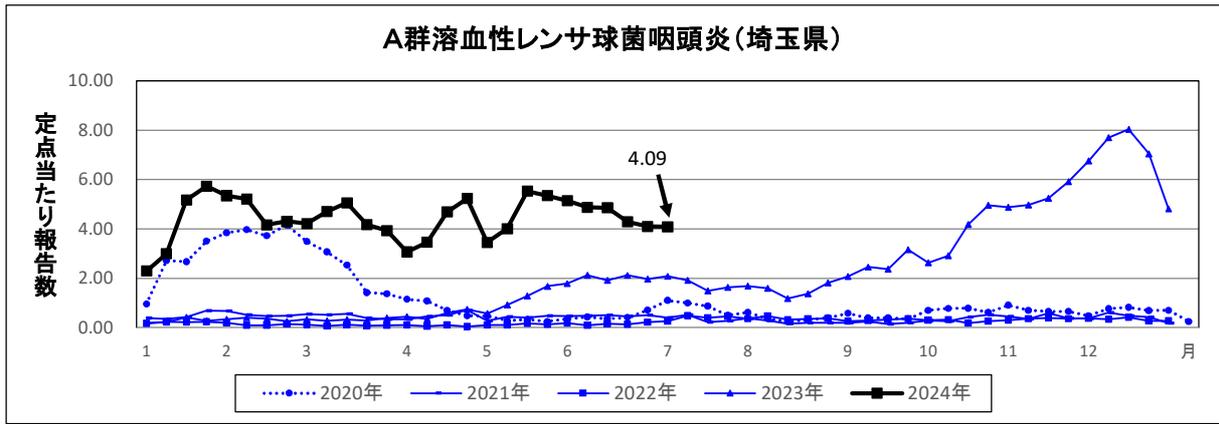


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第27週)

(2024年7月9日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	65			
四類感染症					
E型肝炎	1	24	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ*(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムボックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア	1	2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	55
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		13	侵襲性肺炎球菌感染症		53
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	7	水痘(入院例に限る)	1	1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	43	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	3	223
急性脳炎		15	播種性クリプトコックス症		6
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	76	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	19	百日咳	4	36
ジアルジア症			風しん	1	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症		14	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第27週

7月1日~7月7日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 43	2,220	101	122	663	777	76	3,046	16	61	706	11	2	64	-	1	8	-	-	-	3	70
	0.17	8.60	0.62	0.75	4.09	4.80	0.47	18.80	0.10	0.38	4.36	0.07	0.05	1.52	-	0.08	0.67	-	-	-	0.25	5.83
朝 霞	報告数 2	252	19	9	68	91	9	226	-	4	57	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	2
	0.09	10.96	1.27	0.60	4.53	6.07	0.60	15.07	-	0.27	3.80	0.13	0.25	1.25	-	-	-	-	-	-	-	2.00
鴻 巣	報告数 6	228	2	13	26	70	4	397	-	5	82	-	-	7	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.32	12.00	0.17	1.08	2.17	5.83	0.33	33.08	-	0.42	6.83	-	-	2.33	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 2	57	-	3	7	27	-	74	-	1	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
	0.25	7.13	-	0.60	1.40	5.40	-	14.80	-	0.20	0.80	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	2.00
秩 父	報告数 2	42	1	1	5	-	-	22	-	-	6	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.40	8.40	0.33	0.33	1.67	-	-	7.33	-	-	2.00	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 1	22	-	1	2	-	7	45	-	-	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	0.14	3.14	-	0.25	0.50	-	1.75	11.25	-	-	3.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
熊 谷	報告数 1	81	3	3	20	18	-	160	-	1	40	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
	0.10	8.10	0.50	0.50	3.33	3.00	-	26.67	-	0.17	6.67	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	2.00
加 須	報告数 -	56	-	2	5	-	5	100	-	4	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
	-	5.60	-	0.33	0.83	-	0.83	16.67	-	0.67	0.17	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	6.00
春 日 部	報告数 4	75	6	8	89	50	1	166	-	3	10	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.40	7.50	1.00	1.33	14.83	8.33	0.17	27.67	-	0.50	1.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 2	177	10	18	84	22	10	138	1	2	28	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.14	12.64	1.11	2.00	9.33	2.44	1.11	15.33	0.11	0.22	3.11	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 2	107	2	5	19	46	-	87	1	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
	0.20	10.70	0.33	0.83	3.17	7.67	-	14.50	0.17	0.17	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	4.00
草 加	報告数 7	210	4	3	46	66	2	113	2	5	43	2	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	0.37	11.05	0.33	0.25	3.83	5.50	0.17	9.42	0.17	0.42	3.58	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 5	251	22	23	96	34	3	283	-	3	40	1	1	4	-	-	-	-	-	-	1	-
	0.20	10.04	1.38	1.44	6.00	2.13	0.19	17.69	-	0.19	2.50	0.06	0.20	0.80	-	-	-	-	-	-	1.00	-
南 部	報告数 2	110	16	6	46	51	-	123	-	1	91	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	25
	0.25	13.75	3.20	1.20	9.20	10.20	-	24.60	-	0.20	18.20	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	1.00	25.00
川 越 市	報告数 -	70	3	3	22	16	10	181	7	13	40	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	-	5.00	0.38	0.38	2.75	2.00	1.25	22.63	0.88	1.63	5.00	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 1	136	3	7	19	31	1	98	-	2	30	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6
	0.08	10.46	0.38	0.88	2.38	3.88	0.13	12.25	-	0.25	3.75	0.13	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	6.00
川 口 市	報告数 1	163	5	6	43	96	11	255	3	5	131	-	-	5	-	-	4	-	-	-	-	8
	0.05	8.15	0.38	0.46	3.31	7.38	0.85	19.62	0.23	0.38	10.08	-	-	1.25	-	-	4.00	-	-	-	-	8.00
さいたま市	報告数 5	183	5	11	66	159	13	578	2	11	81	3	-	38	-	-	1	-	-	-	-	12
	0.12	4.26	0.18	0.39	2.36	5.68	0.46	20.64	0.07	0.39	2.89	0.11	-	4.22	-	-	1.00	-	-	-	-	12.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

7月

9日

13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第27週 7月1日～7月7日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	43	-	1	1	-	-	1	1	-	1	-	2	5	4	7	3	4	11	1	-	1
新型コロナウイルス感染症	2,220	13	24	49	34	17	14	18	14	23	20	6	192	180	249	249	262	320	186	205	145
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	101	11	24	27	26	6	5	1	1	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	122	-	4	34	19	7	14	17	7	7	5	2	2	1	3						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	663	3	2	41	41	55	70	100	55	63	47	40	111	7	28						
感染性胃腸炎	777	7	40	77	80	76	73	69	61	69	51	50	86	8	30						
水痘	76	-	2	10	-	5	4	7	6	7	4	12	16	1	2						
手足口病	3,046	30	277	1,109	631	373	277	179	64	38	22	7	14	1	24						
伝染性紅斑	16	-	-	-	1	2	2	3	2	4	1	1	-	-	-						
突発性発しん	61	1	11	29	12	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	706	3	49	167	162	98	98	54	31	18	13	6	3	1	3						
流行性耳下腺炎	11	-	-	-	1	2	1	1	1	2	3	-	-	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
流行性角結膜炎	64	-	-	2	3	7	5	4	1	5	-	1	3	-	2	12	9	3	1	6	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
マイコプラズマ肺炎	8	-	-	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1				
新型コロナウイルス感染症(入院)	70	3	-	1	-	-	-	-	1	1	2	-	-	2	1	2	57				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第25週 (6月17日～6月23日)

令和6年7月10日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.40)、茨城県(0.79)、愛媛県(0.36)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は28例と前週と比較して増加した。都道府県別では17都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(5例)、10代(2例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(2例)、70代(6例)、80歳以上(9例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(25.68)、鹿児島県(10.51)、佐賀県(8.46)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,493例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(41例)、1～9歳(27例)、10代(15例)、20代(18例)、30代(25例)、40代(35例)、50代(85例)、60代(135例)、70代(352例)、80歳以上(760例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.37)、宮崎県(4.36)、鳥取県(3.32)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(2.61)、富山県(2.39)、岩手県(2.35)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福岡県(8.01)、鳥取県(7.74)、宮崎県(7.03)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(12.83)、熊本県(7.10)、福岡県(5.77)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は三重県(16.36)、兵庫県(11.12)、滋賀県(10.36)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は東京都(0.38)、青森県(0.35)、岩手県(0.30)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は静岡県(2.61)、三重県(2.60)、群馬県(1.92)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は滋賀県(0.17)、新潟県(0.15)、長崎県(0.14)である。

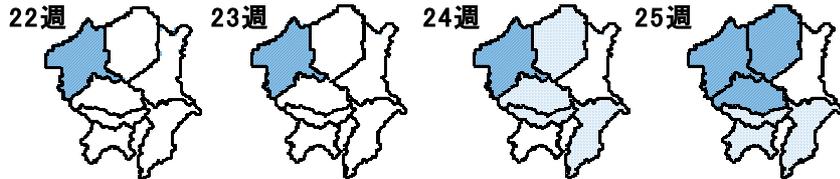
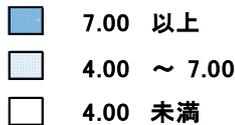
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.29)、大阪府(1.94)、福井県(1.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。9都道府県から10例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(3例)、5～9歳(4例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第25週(6月17日～6月23日):通巻第26巻 第25号より

<関東情報>

手足口病の定点当たり報告数は、群馬県(9.04)、栃木県(7.38)、埼玉県(7.04)からの報告が多い。

手足口病



2024年 25週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	809	305	95	3	9	31	22	78	67
	定点当たり	0.16	0.20	0.79	0.04	0.11	0.12	0.11	0.19	0.19
新型コロナウイルス感染症	報告数	22,754	7,881	633	276	253	1,478	1,457	1,965	1,819
	定点当たり	4.61	5.18	5.28	3.63	2.98	5.68	7.25	4.70	5.04
RSウイルス感染症	報告数	3,970	661	47	53	12	123	113	147	166
	定点当たり	1.27	0.69	0.63	1.10	0.23	0.75	0.91	0.56	0.72
咽頭結膜熱	報告数	2,703	655	64	23	42	161	87	152	126
	定点当たり	0.86	0.69	0.85	0.48	0.79	0.99	0.70	0.58	0.55
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	12,682	3,676	432	144	154	699	689	861	697
	定点当たり	4.05	3.85	5.76	3.00	2.91	4.29	5.56	3.26	3.04
感染性胃腸炎	報告数	13,314	4,126	239	94	237	840	667	1,177	872
	定点当たり	4.25	4.32	3.19	1.96	4.47	5.15	5.38	4.46	3.81
水痘	報告数	687	231	18	-	14	59	32	56	52
	定点当たり	0.22	0.24	0.24	-	0.26	0.36	0.26	0.21	0.23
手足口病	報告数	19,797	5,650	266	354	479	1,148	852	1,567	984
	定点当たり	6.31	5.91	3.55	7.38	9.04	7.04	6.87	5.94	4.30
伝染性紅斑	報告数	266	203	2	9	2	20	23	99	48
	定点当たり	0.08	0.21	0.03	0.19	0.04	0.12	0.19	0.38	0.21
突発性発しん	報告数	1,056	325	13	14	37	64	40	86	71
	定点当たり	0.34	0.34	0.17	0.29	0.70	0.39	0.32	0.33	0.31
ヘルパンギーナ	報告数	3,358	1,137	65	24	102	232	172	355	187
	定点当たり	1.07	1.19	0.87	0.50	1.92	1.42	1.39	1.34	0.82
流行性耳下腺炎	報告数	230	104	6	1	3	21	11	32	30
	定点当たり	0.07	0.11	0.08	0.02	0.06	0.13	0.09	0.12	0.13
急性出血性結膜炎	報告数	34	8	-	-	-	7	1	-	-
	定点当たり	0.05	0.04	-	-	-	0.17	0.03	-	-
流行性角結膜炎	報告数	456	239	40	9	15	46	31	10	88
	定点当たり	0.66	1.15	2.35	0.75	1.07	1.10	0.91	0.26	1.76
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	5	-	-	-	2	-	2	1
	定点当たり	0.02	0.06	-	-	-	0.17	-	0.08	0.09
無菌性髄膜炎	報告数	20	4	-	-	-	-	2	1	1
	定点当たり	0.04	0.05	-	-	-	-	0.22	0.04	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	192	30	5	-	-	5	5	15	-
	定点当たり	0.40	0.35	0.38	-	-	0.42	0.56	0.60	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	0.14	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	10	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

今月のコメント

劇症型溶血性レンサ球菌感染症において、病原体の検出が続いています。
定点当たり報告数が増加している手足口病については、5月及び6月に計22検体が採取され、検査が終了した16検体から、コクサッキーウイルスA6型が14件、コクサッキーウイルスA10型が1件検出されました。

細菌検出状況

三類感染症

令和6年6月30日現在

臨床診断名	分離月			備考(6月分)	
	病原体名	4月	5月		6月
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	4	4	1	H7(VT2):1
	腸管出血性大腸菌O26	1	4	1	H11(VT1):1
	腸管出血性大腸菌O111			1	H-(VT1):1
	腸管出血性大腸菌その他	4	5	1	O128:H2(VT1&2):1

四類感染症

令和6年6月30日現在

臨床診断名	分離月			備考(6月分)	
	病原体名	4月	5月		6月
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1		3		
ブルセラ症	<i>Brucella melitensis</i>			1(1)	中国
ライム病	<i>Borrelia afzelii</i> (PCR陽性)		1(1)		

()内は海外感染例再掲

五類感染症(全数把握)

令和6年6月30日現在

臨床診断名	分離月			備考(6月分)	
	病原体名	4月	5月		6月
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>	2	1		
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2	1		
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	2	2		
	<i>Escherichia coli</i>	1	2		
	<i>Serratia marcescens</i>		1		
	その他CRE		1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌(<i>Streptococcus pyogenes</i>)	9	7	1	
	B群レンサ球菌(<i>Streptococcus agalactiae</i>)	3	1		
	G群レンサ球菌		2	2	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i> :2
侵襲性髄膜炎菌感染症	<i>Neisseria meningitidis</i>		1		
侵襲性肺炎球菌感染症	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1			
播種性クリプトコックス症	<i>Cryptococcus</i> 属真菌	2	1	1	<i>Cryptococcus neoformans</i> :1

五類感染症(定点把握)

令和6年6月30日現在

臨床診断名	分離月			備考(6月分)	
	病原体名	4月	5月		6月
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	A群レンサ球菌(<i>Streptococcus pyogenes</i>)		1		

ウイルス検出状況 全数把握対象疾患

四類感染症 令和6年6月30日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数			
		4月	5月	6月	累計
E型肝炎	検体数	3	3	2	17
	E型肝炎	3	2	2	13
A型肝炎	検体数				3
	A型肝炎				
エムボックス	検体数				1
	エムボックス				
デング熱	検体数	3		2	9
	デング			2	4

五類感染症 令和6年6月30日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月 検体合計数			
		4月	5月	6月	累計
急性脳炎 (四類以外)	検体数	5	4	2	22
	サイトメガロ		1		1
	パラインフルエンザ 3		1		1
	アデノ 1		2		2
	アデノ 3				2
	検査中			2	2
風しん	検体数				4
	風しん				
麻疹	検体数	28	9	10	98
	麻疹				

定点把握対象疾患

季節性インフルエンザ※ 令和6年6月30日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	採取月	採取月												累計	その他のウイルス	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
インフルエンザ	検体数	130	75	59	28	9	5								306	新型コロナウイルス(14)、ヒトメタニューモ(1)、パラインフルエンザ 3(1)、コロナ NL63(1)
	インフルエンザ AH1pdm09	20	5	4	5	6	2								42	
	インフルエンザ AH3	50	8	6	2	2									68	
	インフルエンザ B(ビクトリア)	55	59	46	19										179	
	検査中						3								3	

*急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランスの結果を含む。

五類定点把握対象疾患(季節性インフルエンザを除く) 令和6年6月30日 現在(累計:令和6年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月												累計	その他のウイルス
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
RSウイルス 感染症	検体数	16	6	18	16	24	25							105	ライノ(1)
	検査中				4	1	2							8	
咽頭結膜熱	検体数	1					2							1	
	アデノ 2													1	
	アデノ 3	1												1	
感染性胃腸炎	検体数	8	5	7	2	4	4							30	アデノ40/41(1)、アデノnt(1)、パレコ(1)、ライノ(4)
	ノロ	5	2	5	2	1								15	
	サポ	2		1	1	1								5	
	アストロ		1											2	
	ロタ(A)													3	
手足口病	検体数	1				13	9							23	ライノ(2)、EB(1)、サイトメガロ(1)
	コクサッキー A4													14	
	コクサッキー A6					10	4							1	
	コクサッキー A10						1							1	
	コクサッキー A16													6	
	エンテロ A71					2	4							6	
ヘルパンギーナ	検体数			1	3		7							11	
	コクサッキー A4				1									1	
	コクサッキー A6				1									1	
	コクサッキー A10						2							2	
流行性 角結膜炎	検体数	1			2	1	1							5	
	アデノ 3													1	
	アデノ 37	1												1	
	アデノ 54					1								1	
	アデノ 64				1									1	
無菌性髄膜炎	検体数 ※	5	1	10	5	4								25	
	検査中														

※全ての検体からウイルスは検出されていません。

急性呼吸器感染症(病原体)サーベイランス

臨床診断名	採取月	採取月												累計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
インフルエンザ様疾患	検体数	330	259	236	133	159	133								1250
	新型コロナウイルス	128	96	99	23	52	29								427
	インフルエンザ AH1pdm09	21	6	7	5	6	2								47
	インフルエンザ AH3	49	8	6	2	2									67
	インフルエンザ B(ビクトリア)	56	60	48	21										185
	ヒトメタニューモ	7	9	10	5	1									33
	RS	4	9	7	14	5	5								44
	コロナ HKU1				1	1									2
	コロナ NL63	3	10	6	1	1									21
	コロナ OC43	2	1			1									4
	コロナ 229E	2		3	1										6
	パレコ														1
	ライノ	10	14	11	18	26	9								88
	ボカ	1		1	1	10	6								19
	パラインフルエンザ 1			2	4	1	5								15
	パラインフルエンザ 3				4	18	11								33
	エンテロ						2								2
	アデノ	10	9	5	2	10	3								39
	マイコプラズマ				3										3
	検査中						55								55

この情報に関してのお問い合わせは、感染症情報センター(感染症疫学情報担当) 0493-59-9325へ

感染症発生動向調査
2024年

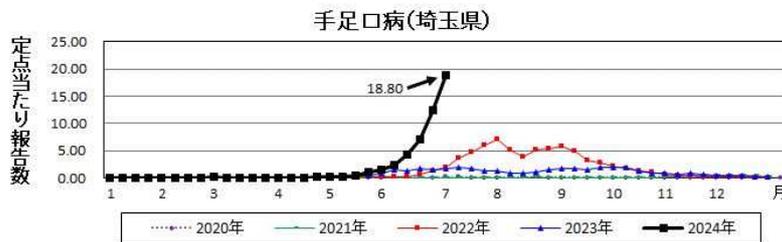
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第27週

2024年第27週（7月1日～7月7日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★★★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	↑	★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	↑	★★★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

